



▲早期の開通が望まれる巣子駅線

Q 巣子駅線の整備状況は

A 収用法裁決申請を受理

Q1 巣子駅線の整備は21年度で事業完了の予定となっております。前回の一般質問時では土地収用法に基づく申請事務の続き中とのことでありましたが、その後の取り組み状況を伺います。

A1 21年度事業完了の予定で、地権者と長期にわたり誠意を持って交渉してまいりましたが、

地域商工業活性化事業とは

Q2 地域商工業活性化事業の目的、事業内容、これまでの成果について伺います。

A2 明白な中心市街地のない本村の商工業の振興を図るため、各市街地ごとの商工業者を中心に、地域の活性化を図ることを目的とした20年度から2年間の

スポーツ振興施策の中味は

Q3 21年度の施政方針の重点課題としている「スポーツ振興」施策の主な中味を伺います。

A3 振興策の一つとして、21年に村政120周年になることを記念して「夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を8月10日(月)に開催いたします。



黒沢 明夫 議員

合意に至らず21年度内の事業完了は困難な状況になっていきます。

現在も交渉の進展が見えないこと、巣子駅が開設してから3年が経過し、地域住民や巣子駅利用者などからも早期の開通が望まれていることから、誠に残念ではありますが、岩手県収用委員会に対し土地収用法に基づく裁決申請を提出し、21年2月17日付けで受理となりました。今後は、収用委員会の裁決を待つ対応を図ってまいります。

予定の事業です。

内容は地域づくりアドバイザーを活用しながら、村商工会と連携を図り、各地域振興会の課題解決に向けた取り組みをし、20年度は巣子、川前、鶴飼の3地域で行いました。

成果としては、地域づくりアドバイザーとの検討の中で、地域資源の発掘や各地域に新たな気づきが生まれるなど次の展開への糸口が見つけられたと思っています。

Q 第6次産業の取組みは

A 農業・観光資源を活用



▲順調に推移する「産直チャグチャグ」

Q1 第6次産業に取組むとしていますが、具体化について伺います。

また、昨年オープンした「産直チャグチャグ」は順調に推移しているようですが、更なる支援と、第2弾の考えはないか伺います。

A1 6次産業は1次・2次・3次産業の一体経営若しくは連携して行う産業を示しています。

現在、産直施設で農業生産物が消費者に直接販売され、生販一体のサービスが展開されています。

また、味噌や漬物など生産・加工・販売が一体となった6次産業が開始しており、これを推進したいと考えています。

産直は順調ですが冬季間の商品が激減するなど通年営業に向けての研究が必要です。

また、生産者からは産直に取組んでみたいとの声も多くあり、新岩手農協とともに支援を考えています。

ITシステム産業の集積は

Q2 滝沢村IPUイノベーションセンターを核として産業集積を目指すとしているが具体策を伺います。

A2 県立大ソフトウェア情報学部の学生は学生奨励賞を多数受賞するなど全国トップクラスの実績があります。一方、IT企業は組込みソフト

に関して優秀な人材を求めている、その企業ニーズと地方進出のリスクを軽減できる研究施設としてイノベーションセンターがあり、核としてIT集積を図るものです。

また、将来は優秀な人材の地元定着と地元企業への経済波及や創造を目指したいと考えています。

Q3 21年度から小学校の英語教育が始まりますが教師の授業力の強化策について伺います。

A3 21・22年度の移行期間は学校判断で施行できませんが、21年度は学校間の実践交流を行い、各学校が抱える課題の解決が図られるように、担当者会議を複数回開催する予定です。

また、20年度から「算数・数学・英語授業力ステップアドバイザー」の取組みを始めましたが、中学校の英語教育との関連を踏まえ、小学校英語教育が充実するよう支援してまいります。

高橋 寿 議員